

市民向けシンポジウム

「地域で最期まで暮らすために」

あなたはどんな場所でどのように最期を迎えますか？

実際にご家族を在宅で看取った方から、その経過を報告いただき、「最期まで住み慣れた地域で生活を続けていくため必要な事は何か？」ともに考え、在宅サービス・施設サービスの活用方法を考えましょう。

● 日 時：2017年3月18日（土）14:00～16:00（開場 13:30）

● 会 場：ちえりあ6階 講堂（札幌市西区宮の沢1条1丁目・011-671-2200）

● 費 用：入場無料（定員 210名）

● 申込み：事前申込み不要（当日直接会場におこし下さい）

● 問合せ：西区保健福祉課保健支援係 電話:011-641-6946
西区在宅ケア連絡会 FAX:011-351-5551・e-mail:info@zaitaku-care.info
<http://www.zaitaku-care.info>

報 告（14:05～14:35）

「97才の母親を70才の息子が自宅で介護した経験から」
講 師 大内 東さん（北海道大学名誉教授）

母親を看取る中、病院への入退院やグループホーム・サ高住への入退居そして在宅での介護等、様々な場面で必要となったサービスについて報告します。

シンポジウム・質疑応答（14:35～15:55 途中休憩を挟みます）

「地域で最期まで暮らすために」

シンポジスト ケアマネジャー・病院地域連携室

訪問診療医・訪問看護師・訪問介護

報告を元に入退院・入退所、介護の各場面ごとに必要となる医療や介護のサービスについて、専門職からの解説とフロア参加者からの質問に答えます。